

総合情報センター報

第 1 5 号



2 0 1 0 年 6 月

津山工業高等専門学校
総合情報センター

[巻頭言]

総合情報センターの課題など

総合情報センター長 山本吉範

今年の4月より総合情報センター（以下センターという）長に就任いたしました山本です。今後とも宜しく願いいたします。私は以前本校で約8年間、教育プログラム点検やJABEE評価、認証評価に携わってきました。その為か、教育や組織の点検癖がついてしまったようで自分ながら驚くこともしばしばあります。この場でもその癖が出てしまいましたことをお許し下さい。

本校センターは、平成8年4月にそれまであった電子計算室が廃止され発足しました。また、センター発足以来、年1回センターの活動状況・予算執行状況・教育利用等を記録する広報誌として、このセンター報が発行され、今号で15報目となりました。本センターの業務と組織についてですが、以下の3つの部門を設けています。

（1）教育情報システム運用管理部門・・・基礎情報演習室，応用情報演習室，マルチメディア室における教育利用の支援に関する業務を行う。

（2）情報ネットワーク運用管理部門・・・情報ネットワークの円滑な運用のための管理と情報検索・公開の支援に関する業務を行う。

（3）事務処理システム運用管理部門・・・情報ネットワークによる効率的な事務処理法の開発支援に関する業務を行う。

また、センター運営小委員会を置き、センターの事業計画及び実施に関する事項、予算に関する事項などセンターの運営に関する事項を審議しています。センターの教職員はセンター長，副センター長3名（各部門長を兼ねる），専門教員1名，一般科目及び各専門科目から推薦された教員各1名，事務部から推薦された職員3名及び技術職員1名と事務補佐員1名からなっています。また，システム管理者4名を配置し常時各部署のシステム管理を行っています。

以上の業務と組織でセンターは現在まで非常に安定した活動を続けてまいりました。しかしながら，教育組織・社会環境の変化（多様化）により幾つかの課題が第4回の自己点検・評価報告書（平成17年8月発行）の中で指摘されました。それらを示しますと

(1) センター発足以来学内のパソコンが増える状況は変わらず，サポートに多くの時間をセンター専門教員，技術職員が割いている。また，情報化が進むにつれてセンターの業務も増えている。できるだけ個人に負担がかからないような仕組

みを考える必要があり、そのためにも人材（システム管理者など）の養成が望まれる。

・これについては、各部署における管理・運営はその部署のセンター運営小委員会メンバーで対応するなど負担の分散化を行うと共にセンター長、副センター長、専門教員の意思疎通（連絡会）を頻繁に行うことにより、部門間の業務の調整と方向付けをきっちり行い対応してきています。ただし、人材の養成についてはまだ不十分な所があります。

(2) 施設の老朽化を解消して総合情報センター・図書館の一体化により十分なスペースを確保し、ゆとりを持って情報収集・提供が行える環境を整備し、地域社会の要請にも答えられる設備とシステムの構築が望まれる。

・これについては、新施設の要求を引き続いて行い、センター・図書館一体型のゆとりある施設の実現に向けて努力していきます。また、社会の要請に答えられるシステムの構築については、5年ごとに教育システムの更新を行っており、本年度も新教育システムの策定に取り掛かっています。これにより最新のシステムを導入することで情報教育はもとより、公開講座などの地域社会の要請にも答えて行きます。

(3) 新カリキュラムの進行に伴い、マルチメディア室の利用率が80%を越えた。今後も利用率が維持・上昇していくことが予想される。学生へのサービス低下を招くことも考えられるので演習室の増設が望まれる。

・これについても新施設の要求を引き続き行って、実現していきたいと考えています。

(4) 学生がセンターを利用するに当っては毎年度当初に利用説明会など開き、利用に当たってのモラルやルールなどを教育してきているが、それでも守らない学生が見受けられる。効果的な対策が望まれる。

・学生のみならず教職員向け情報セキュリティセミナーを年2回開催し、セキュリティやネットワーク利用マナーを啓発しています。これにより担当教員から学生に利用マナーが常時伝わり効果を挙げています。また、センター利用マナーがあまりに酷い場合は、センターに該当学生を呼び出して個別に指導を行っています。

(5) 不正アクセスやウイルスの侵入などに対して、セキュリティ対策を講じているが、その啓蒙活動も含め引き続き強化する必要がある。

・平成17年度に津山工業高等専門学校情報セキュリティポリシーを制定し、平成19年度には「同全校的实施手順」「同職員向けマニュアル」を改訂しました。今後もこのポリシーをセキュリティ担当者にセミナーを通して啓蒙していきます。

今後さらに重要になると考えられる事項として、ソフトウェアの不正コピーなどの著作権侵害を防止していく情報倫理の啓蒙の問題があります。これについても情報セキュリティセミナーなどを通じて啓蒙を深めていきます。

最後に、前述しましたように本センターの情報システムは現在まで安定かつ安全に運用されてきました。今後も引き続き安定に運用してまいります。さらに快適さと同時に開かれたネットワークの運用に向けても取組んでまいりたいと考えています。皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

[巻頭言] 総合情報センターの課題など

総合情報センター長 山本吉範

[特集] VPN 導入とマイクロソフト包括ライセンス

VPN ソフトウェアのインストールと設定

専門教員 寺元貴幸・専門職員 日下孝二 … 1

マイクロソフト包括ライセンスについて

学生課学術情報係 藤原智孝 … 9

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 長井 聡 … 1 1

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二 … 1 1

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚 … 1 4

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧	1 6
2. 平成 2 1 年度授業・研究利用状況	1 7
2. 1 授業での利用	1 7
2. 2 研究での利用	1 8
2. 3 総合情報センター利用者数一覧（マルチメディア室を除く）	2 1
3. 開放利用	2 1
4. 委員会報告（平成 2 1 年 4 月から平成 2 2 年 3 月まで）	2 2
4. 1 学術情報委員会	2 2
4. 2 総合情報センター運営小委員会	2 2
4. 3 総合情報センター連絡会	2 3
5. 主要日誌（平成 2 1 年 4 月から平成 2 2 年 3 月まで）	2 3
6. 総合情報センターの予算執行状況	2 5
7. 平成 2 2 年度総合情報センター利用授業時間割	2 7
8. 平成 2 2 年度総合情報センター関連の委員と職員	2 9
8. 1 学術情報委員会委員	2 9

8. 2	総合情報センター運営小委員会委員	29
8. 3	総合情報センター職員	30
9.	津山高専教職員のメールアドレス	30
10.	総合情報センターシステム構成図	34
	編集後記	

[特集]

VPN 導入とマイクロソフト包括ライセンス

VPN ソフトウェアのインストールと設定

総合情報センター専門教員 寺元貴幸・専門職員 日下孝二

1. VPN とは

VPN(Virtual Private Network) とは公衆のネットワーク回線であるインターネットを使って、離れた場所にあるローカルエリアネットワーク (LAN) 同士を安全に接続する技術の総称です。東京の本社と地方都市の支社のそれぞれのネットワーク同士を接続し、あたかも一つのネットワークの様に運用する事が可能になれば多くのメリットがあります。この技術を応用して、出張や海外など学外に出ている時でも、あたかも津山高専の学内 LAN に接続することができればいろいろな利用方法が可能になります。このようにネットワーク技術を活用して、場所や時間に制約をうけることがない労働環境をテレワークと言います。(図 1 参照)

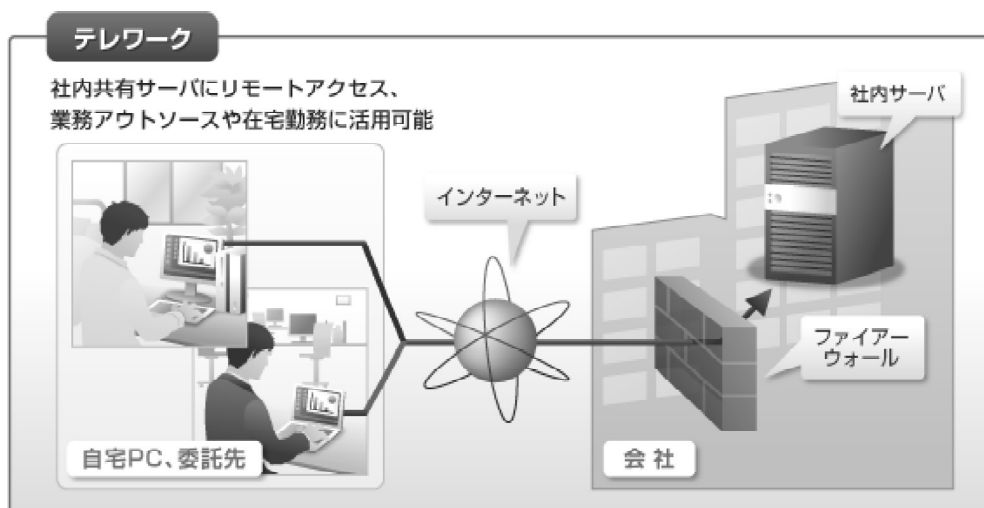


図 1 VPNを利用したテレワークの例

この環境を提供する装置として総合情報センターでは Juniper 社の SSG 5 という装置を購入しました。この装置を利用してセキュリティの高い IPSec VPN 環境を構築し、利用できるようにいたしましたので以下に説明します。なお Windows2000/XP/Vista 等にも標準で IPSec VPN を利用するためのソフトウェアが搭載されていますが、今回利用する SSG 5 はさらに高いセキュリティを実現するため標準ソフトが使用できません。そのため以下に説明するソフトウェア「NetScreen-Remote」をインストールし、適切に設定する必要があります。ここではその概要を説明します。

2. 申請手続き

VPN の利用に際しては、利用申請書の提出が必要となります。申請書類は「¥¥Tds3¥共有ファイル¥教員用¥総合情報センター¥細則別紙様式」内にある「別紙様式第10号（第6条関係）総合情報センターVPN接続利用申請書」を利用し、必要事項を記入して総合情報センターに提出してください。

なお、無条件にVPN接続が許可されるものではなく、総合情報センターで審査を行い、必要と認められた場合のみ接続が許可されます。接続が許可される例としては

- ・出張・留学等により津山高専学内ネットワークへの接続が困難な場合
- ・特別な理由により一時的に学内ネットワークを利用する必要性が高い場合
- ・システム管理上必要と認められた場合

などがあります。

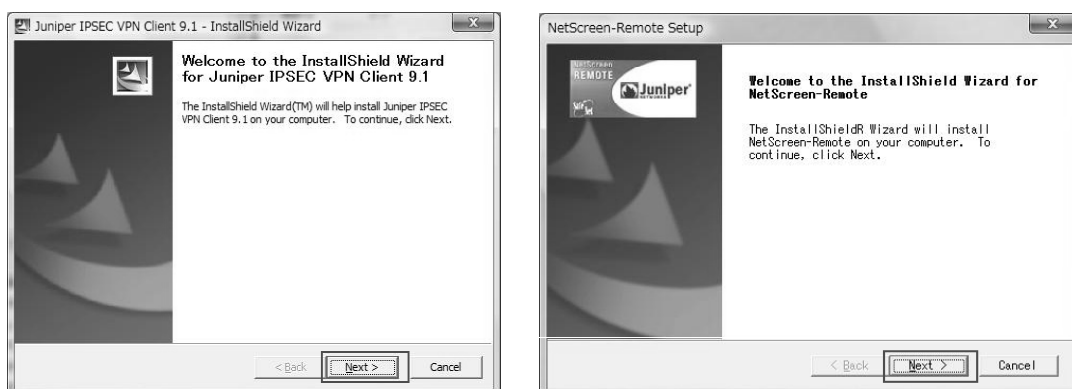
接続が許可された場合は、インストールに必要なプログラム等が提供されるので、以下の手順によりインストールを行います。ただし、インストールに必要なパスワード等は、仮のものであり、実際に必要となるパスワードは許可された段階で別途通知されます。

3. NetScreen-Remote Ver.9.0r4 のインストールと設定

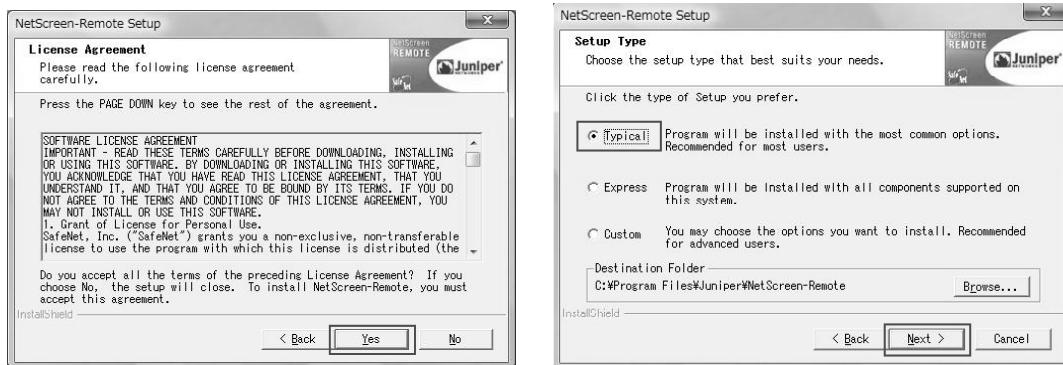
対応する OS は 2010 年 5 月現在 Windows2000, XP(SP2)/Vista (HomePremium/Business/ Ultimate/Enterprise) であり Windows7 には非対応です。（随時ドライバが公開されるものと思われます）

① NetScreen-Remote のインストール

「NetScreen Remote ver. 9.0r4」フォルダの「NetScreen-Remote VPN Client 9.0r4.exe」をダブルクリックします。セットアップ画面が表示されるので [Next] をクリックします。



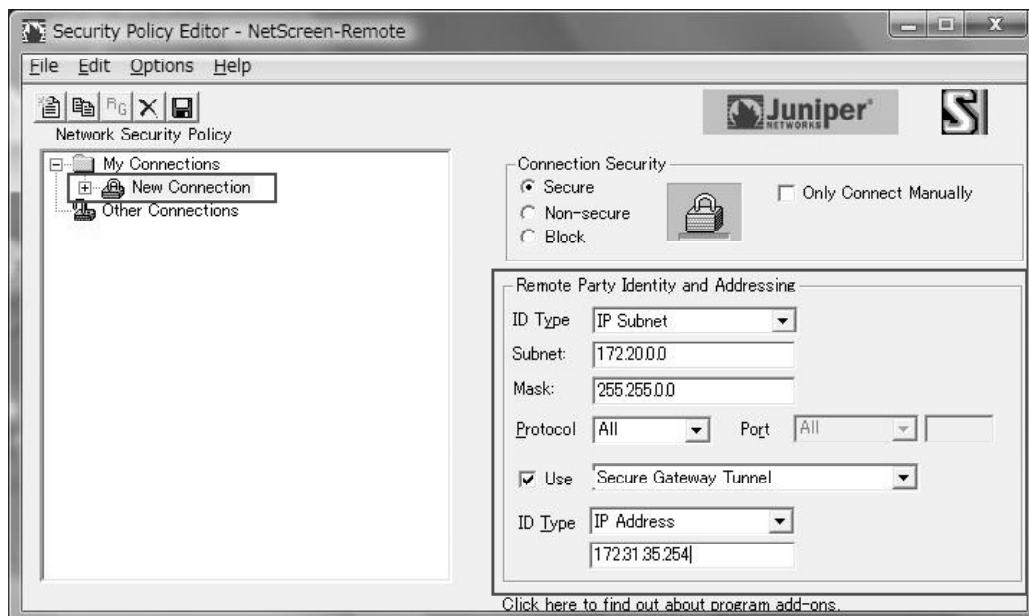
ライセンス許諾画面で内容を確認して [Yes] をクリックします。



Setup Type は標準インストール「Typical」を選択して [Next] をクリックします。ファイルのコピー開始画面が表示されるので [Next] をクリックします。これでインストールは終了です。[Finish]を押して再起動してください。

② コネクションの設定

NetScreen-Remote を起動して「My Connection」を右クリックし、「Add」－「Connection」と選び「New Connection」を作成します。

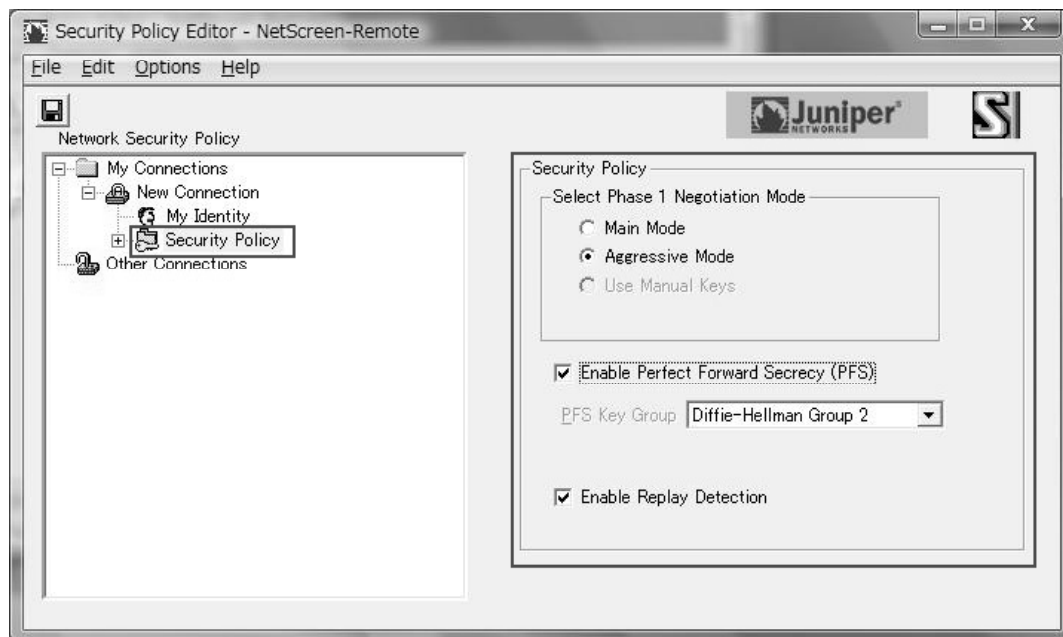


[実際の設定]

- ・ ID Type : 「IP Subnet」
- ・ Subnet : 「172.20.0.0」 (NetScreen の Trust 側ネットワークアドレス)
- ・ Mask : 「255.255.0.0」
- ・ Connect using : チェックを入れます。

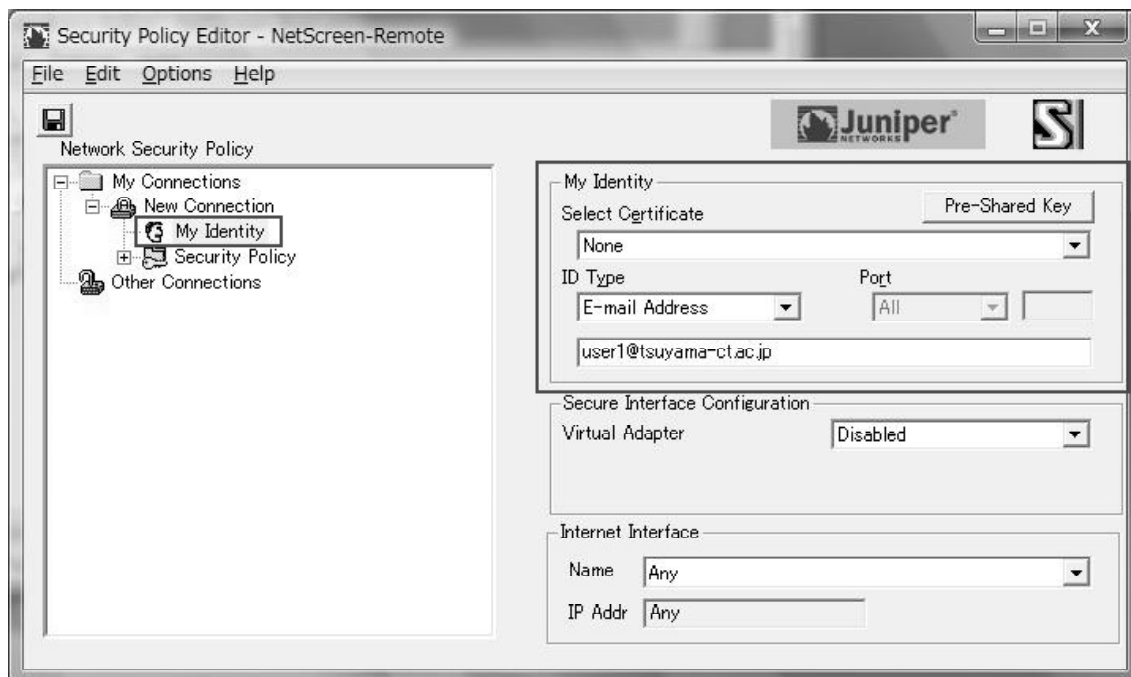
- ・ ID Type : 「202.242.38.61」 (NetScreen の Untrust 側グローバルアドレス)

③ Security Policy の設定



- ・ Phase Negotiation Mode : Aggressive Mode (PC 側が動的 IP アドレスを想定)(Phase1)
- ・ Enable Perfect Forward Secrecy(PFS) : チェックを入れます。
- ・ PFS Key Group : Diffie — Hellman Group 2

④ [My Identity の設定]



- ・ Select Certificate : None
- ・ ID Type : 「E-mail Address」とし, 「user1@tsuyama-ct.ac.jp」と入力します。(SSG

で設定した E-mail Address と合わせます)

⑤ [Pre - shared Key の設定]

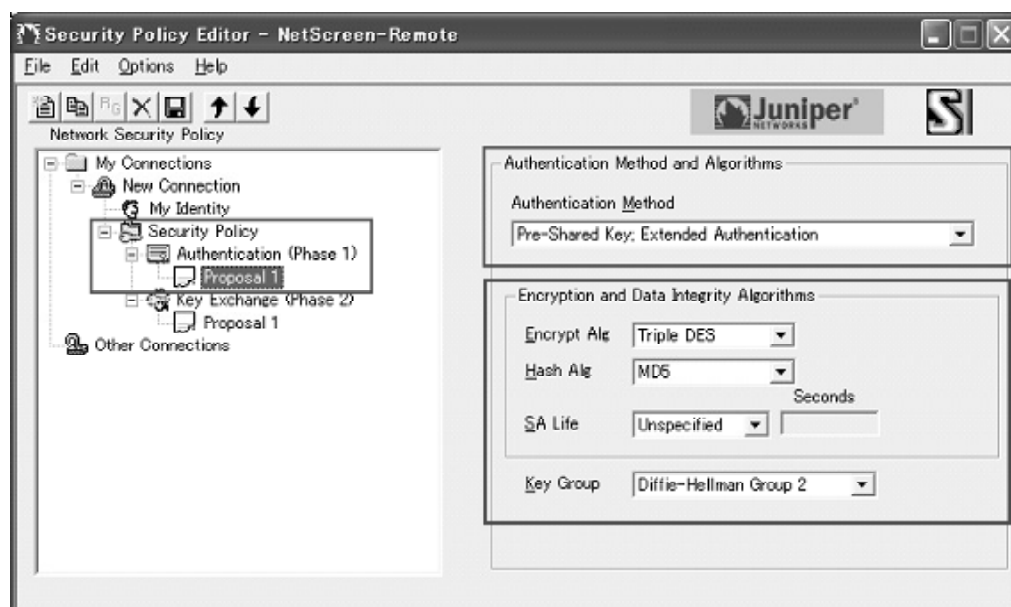
[My Identity の設定] 画面右上の [Pre - shared Key] ボタンを押します。

・ [Enter Key] を押し、Pre-shared Key (8 文字以上) に「***** (別途連絡するパスワード)」と入力後 [OK] ボタンを押します。(SSG と同じ設定にします)



⑥ [Phase 1 の設定] (Xauth を利用する場合)

Xauth (IKE ネゴシエーション) とは VPN 接続を開始する前に“ユーザ認証”する方法です。これを設定することによりセキュリティが強化されます。

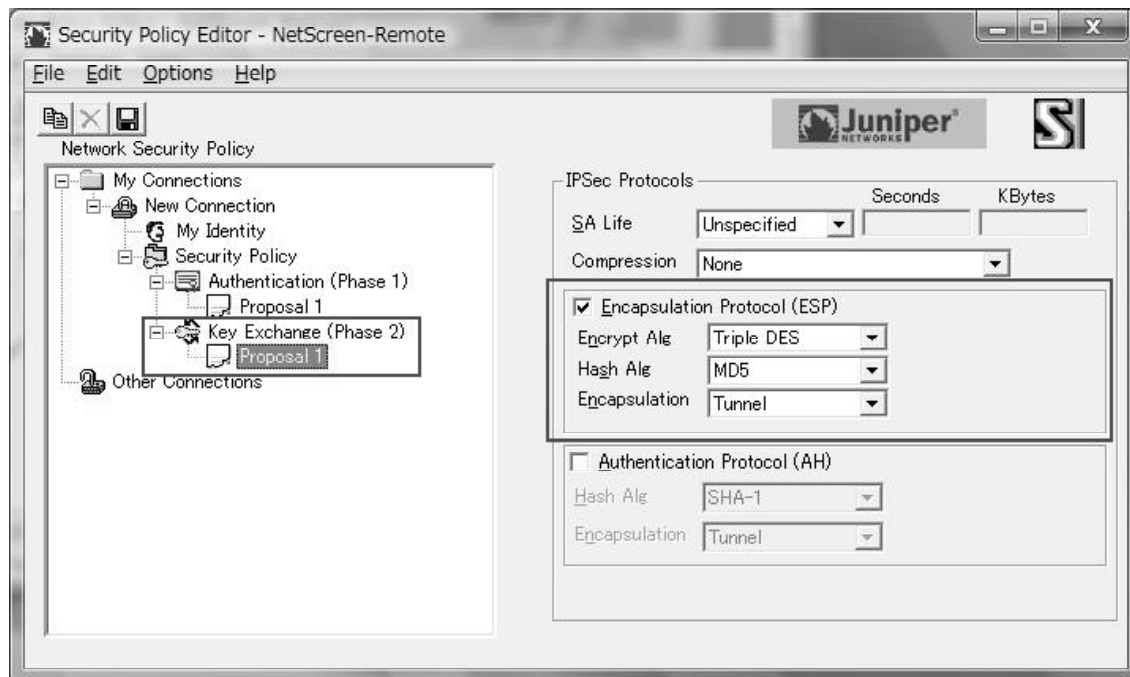


赤い四角で囲んだ部分のみ変更します。

- ・ Authentication Method : Pre-Shared Key ; Extended Authentication
- ・ Encrypt Alg : Triple DES

- Hash Alg : MD5
- Key Group : Diffie-Hellman Group 2

⑦ [Phase 2 の設定]

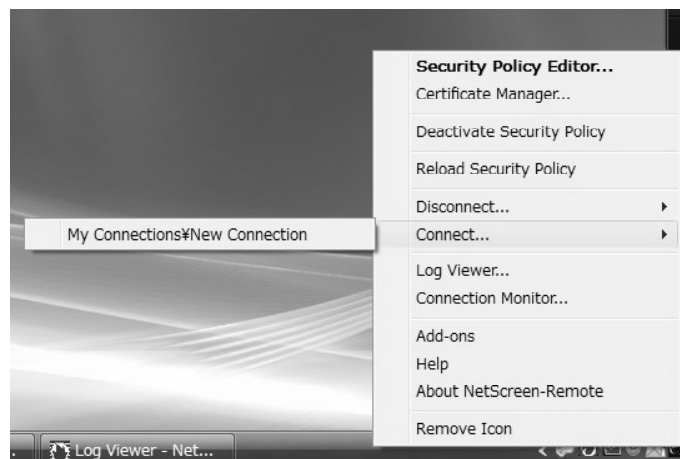


- Encrypt Alg : Triple DES
- Hash Alg : MD5
- Encapsulation : Tunnel

設定が終わったら [File] - [Save] で設定を保存します。

4. VPN の接続方法

デスクトップ画面右下の「Netscreen-Remote」アイコンを右クリックし, [Connect] - [My Connections¥New Connection]を選択します。(専用のバッチファイル「VPN 開始.bat」を用意しています。)



ユーザ認証を行う画面が表示されます。

- ・ ユーザ名：?????
- ・ パスワード：?????

を入力後，[OK]を押します。

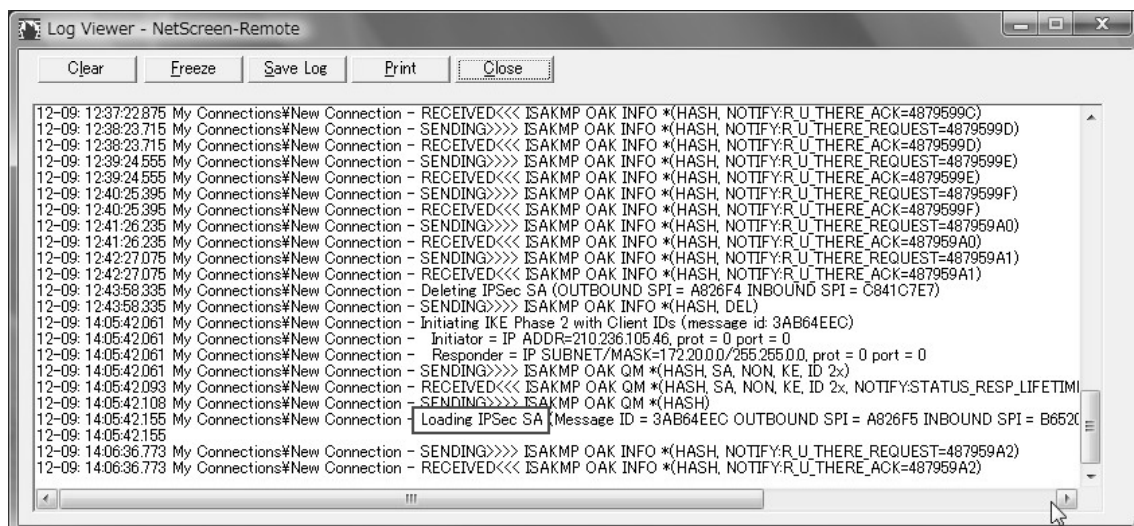


接続が成功すると次のメッセージが表示されます。



接続の確認はデスクトップ画面右下の「Netscreen-Remote」アイコンを右クリックし，[Log Viewer]を選択します。

以下のように New Connection - **Loading IPSec SA** が表示されれば成功です。



5. VPN 接続の終了

デスクトップ画面右下の「Netscreen-Remote」アイコンを右クリックし、[Disconnect] – [My Connections] – [New Connection]を選択します。

また終了専用のバッチファイル「VPN 終了.bat」を用意しています。VPN 接続中にインターネットへの接続が切れてしまった場合、この終了作業を行い一度完全に VPN を終了してから、新たに VPN の接続を行います。中途半端にコネクションが残っていると、正常に接続できない事があります。

マイクロソフト包括ライセンスについて

学生課学術情報係 藤原智孝

平成21年3月4日に、国立高等専門学校機構とマイクロソフト社の間で、包括ライセンス契約が交わされました。契約形態としては、組織に所属する人に対して指定されたマイクロソフト社製のソフトウェアを使用する権利を与える一括ライセンス契約です。包括ライセンス契約の有効期間中であれば、契約しているマイクロソフト社製品の最新バージョンを常に利用することができ、また、学校内だけでなく個人所有のパソコンにインストールし活用することもできます。学習・教育環境の充実による学生に対するサービス向上、不正コピー防止などの組織的なコンプライアンスの徹底、ライセンス管理業務の人為的作業コストの軽減、機構一括契約による各高専の契約業務の軽減等を目的としています。

利用出来るソフト

・ Office Enterprise 2007 (Windows OS)

Word 2007, Excel 2007, PowerPoint 2007, Access 2007, Outlook 2007,
Publisher 2007, InfoPath 2007, OneNote 2007, Groove 2007, Communicator 2007

・ Office Professional 2003 (Windows OS)

Word 2003, Excel 2003, PowerPoint 2003, Access 2003, Outlook 2003,
Publisher 2003

・ Office 2008 for Mac (Mac OS)

Word 2008, Excel 2008, PowerPoint 2008, Entourage 2008

・ Office 2004 for Mac (Mac OS)

Word 2004, Excel 2004, PowerPoint 2004, Entourage 2004

・ Windows 7 (※Windowsは全てアップグレード／ダウングレード権のみの契約なので、元となるOSのライセンスは必ず必要)

- ① Windows7 Enterprise
- ② Windows7 Professional

・ Windows Vista

- ① Windows Vista Enterprise
- ② Windows Vista Business

・ Windows XP

- ① Windows XP Professional

・ Core CAL (Client Access License)

運用方針

1. 学校管理下のPC

・ 基本はオンラインインストールです。学内に専用サーバを立ち上げ、オンラインで配付しインストールできるシステムを組み込みます。ただし、平成22年4月末現在で、オンラインインストールの準備態勢は未整備であり、近日中に運用開始する予定です。

※特に急ぐ場合のみ，メディアによるインストールで対応します。依頼のあったPC端末にDVDでソフトをインストールします。

2. 個人のPC

・ DVDを各自購入して対応して下さい。DVDでのメディア販売は現在、流通等販売経路を調整中です。購入時には、購入申請書の提出が必要です。メディアの値段は1500円程度になるのを目標としていますが、まだ不確定です。学生が卒業後も利用できる契約となっていますが、パソコン買い替え等で再インストールの際には購入したメディアで行ってもらいます。インストール自体は一台のみにしかインストールできません。

問い合わせ先

学生課学術情報係

担当：竹内

0868-24-8209

takeuti@tsuyama-ct.ac.jp

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 長井 聡

教育用システムは 4 年目となりましたので、トラブルが増加してご迷惑をおかけしております。光学ドライブにつきましては全数ゴムベルトの交換を実施しました。不具合が発生しましたら早急に対応いたします。

(1) 授業・実習担当者向け説明会

毎年年度始めに実施しています。今年度は 4 月 3 日に実施しました。利用環境に大きな変更はなく、昨年度とほぼ同様でした。

(2) 4 年生対象のセキュリティ教育

今年度も 5 月に学科毎に実施しました。機械、電気電子、電子制御の 3 学科は共通の教材で、情報は学科独自の内容で行いました。

(3) マルチメディア室の設備更新等

学生用机を 2 人で 1 つの幅の広いものに交換しましたので手元が広く使えるようになりました。また、プラズマテレビが天井吊りとなり、全体が見渡しやすくなりました。

(4) USB メモリの抜き忘れ対策

演習室での USB メモリの忘れ物が多いため、システム終了時に刺さったままになっているとピープ音が鳴るようにしました。

教育用システムは更新から 3 年目になります。管理者はじめ皆様のご協力により偶発故障などが見られるものの、ほぼ安定に運用できています。また、今年度は次期教育用システムの仕様を策定する予定です。

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二

情報ネットワーク運用部門の活動に関して、平成 21 年度もおおむね安全かつ安定にネットワークサービスを提供できたと考えています。ネットワークサービスの停止も、皆様のご協力により、全国的に見ても最短時間で済ませることができました。また、教職員全体のようなメーリングリストに対する添付ファイル

付メール送信などはほとんど見られなくなりました。引き続きネチケット向上にご協力をお願いします。

MS-Windows 系パソコンならびにネットワークサーバのセキュリティ対策などを中心に、本部門の活動概要を報告します。

(1) コンピュータウィルス対策

ウィルスに感染しないためには、OS のアップデートとウィルスパターンファイルの最新版への更新が基本です。より一層、セキュリティ意識の向上にご協力をお願いします。

昨年 3 月、ウィルス対策ソフトをキャノン ESET NOD32 アンチウイルス V3.0 に変更しました。そのためホームページ閲覧時に過剰な発見があり、発見数は増加しましたが、実際のウィルス感染数は少なく、ほぼ適切に駆除できました。センターでは、過剰な発見に対しても、PC 管理者に対して確認連絡を行っており、通常の月では 10 件程度ですが、ESET 導入直後でコンピュータウィルス「W32.Downadup.B」「Win32/Conficker.AE」の侵入があった 4 月が 45 件、また、9 月が 20 件、1 月が 22 件のように長期休暇明けの月が多い結果となっています。

Micorosoft 社の Windows 系パソコンに対するアップデートの情報は、これまでどおり「緊急」またはそれに類すると判断した場合に、総合情報センターから全員に連絡しています。平成 21 年度に Micorosoft 社の脆弱性および関連したアプリケーション等、セキュリティ関連で連絡したのは次のとおりです。

平成 21 年 4 月 15 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-009 ～ MS09-016)
平成 21 年 4 月 21 日	コンピュータウィルス「W32.Downadup.B」「Win32/Conficker.AE」の侵入について、注意喚起
平成 21 年 5 月 15 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-017)
平成 21 年 5 月 18 日	Adobe Acrobat 及び Adobe Reader セキュリティ情報
平成 21 年 5 月 20 日	Adobe Flash Player セキュリティ情報
平成 21 年 6 月 11 日	Windows Vista セキュリティ情報
平成 21 年 7 月 15 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-028 ～ MS09-032)
平成 21 年 7 月 29 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-034 ～ MS09-035)
平成 21 年 7 月 29 日	Adobe Flash Player セキュリティ情報
平成 21 年 8 月 12 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-036 ～ MS09-044)
平成 21 年 9 月 4 日	ATOK セキュリティ情報
平成 21 年 9 月 9 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-045 ～ MS09-049)
平成 21 年 9 月 9 日	Firefox セキュリティ情報を校内へ周知

平成 21 年 9 月 16 日	Mac セキュリティ情報
平成 21 年 10 月 14 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-050 ～ MS09-062)
平成 21 年 10 月 14 日	Adobe Acrobat 及び Adobe Reader セキュリティ情報
平成 21 年 11 月 12 日	Windows セキュリティ情報 (MS09-063 ～ MS09-068)
平成 22 年 1 月 13 日	Windows のセキュリティ情報 (MS10-001)
平成 22 年 1 月 13 日	Adobe Acrobat 及び Adobe Reader セキュリティ情報
平成 22 年 1 月 22 日	Windows セキュリティ情報 (MS10-002)
平成 22 年 2 月 10 日	Windows セキュリティ情報 (MS10-003 ～ MS10-015)
平成 22 年 2 月 17 日	Adobe Flash Player, Adobe Acrobat 及び Adobe Reader セキュリティ情報
平成 22 年 3 月 31 日	Windows のセキュリティ情報 (臨時) (MS10-018)

(2) ネットワークサービスの維持・向上

電子メール・Web ページなどのネットワークサービスは、非常に重要な役割を担っており、安定的で高品質なサービス提供は本部門の重要な任務です。このため、通信機器・経路の維持管理、ネットワークサーバの安定運用、さらにサーバの適切な設定によるサービス品質の向上に努めています。

通信機器については、平成 18 年度に更新したセンタースイッチ、フロントスイッチ、エッジスイッチについて、信頼性と性能の両面で平成 23 年度までの使用に問題はなく、平成 24 年度から新システムに移行する予定になっています。対外接続回線 (CCCN 回線) については、6 月 29 日にルータ交換作業を実施し、通信速度は 5 Mbps から 20 Mbps へ向上しました。

ネットワークの安定運用では、定期的なハードウェアの更新に努めていますが、平成 21 年度は、学内 DNS サーバ 1 台のみの更新でした。ネットワーク系サーバは FreeBSD などオープンソースソフトウェアを利用し、RAID を基本とし、複数バックアップにより、安定で安心なサービスを提供しています。また、システムのパッチ当てやプログラム更新も前年度と同数の 61 回行い、常に最新の状態を保っています。

サービス品質の向上では、日々、迷惑メールを予防できるよう努めており、いわゆる迷惑メールがほとんど着信しない快適なメール環境を実現できています。ウィルス未添付のいわゆる迷惑メールは、宛先アドレスが正確であれば届いてしまいます。本校では、一度迷惑メールを送ってきた IP アドレスをブラックリストに追加し、以降の着信を拒否します。しかし、費用を掛けないで効率的に制限できる反面、何件かの過剰設定も判明しました。ご迷惑をおかけしますが、届くべきメールが届かなかった場合には、システム管理者(help)に速やかに連絡をい

ただくよう、お願いいたします。

また、本校公式ページでは、常に本校のホットなニュースを提供できるよう心掛けており、月々約50回の更新などメンテナンス作業を行っています。11月26日にはトップページデザインを更新して第3版になりました。

ユーザーの利便性向上のため、仮想プライベートネットワーク VPN (Virtual Private Network) の導入を行い、利用規程を定めました。セキュリティと同時アクセス数を考慮し、校務出張など短期の利用や研究目的に限られますが、運用を始めることができました。

(3) その他

上記以外に、掲示板システムの運用支援、学術ネットワークと岡山情報ハイウェイとの作業によるネットワークの一時停止案内、教育用システムの整備支援、日常の運用管理（ユーザの管理、公式ホームページの運用とコンテンツ更新、メーリングリストの管理、ネットワーク機器障害への対応、不正使用のチェックなど）等、これまで通りの各種活動も行っています。

また、12月と3月の年2回、情報セキュリティセミナーを開催しています。学校全体のセキュリティを維持するのは各人のセキュリティ意識の向上と学生への適切な指導が大切です。必ずどちらかのセキュリティセミナーに参加下さるようお願いいたします。

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚

当部門では、tds3 および今年度更新された tfs3 の共有ファイルの書き込み、各委員会フォルダのアクセス権者の設定を行っています。これに関連して教職員が共有する情報を管理する tds3、tfs3 およびグループウェア（サイボウズ office8）の使用に関するガイドラインを作成し、周知をしております。ガイドラインでは共有する情報に必要なセキュリティの度合いにより、tds3 やグループウェアを使い分けています。また最近では、教職員の使用されるパソコンのユーザ名が tds3 のものと一致しないため、共有ファイルにアクセスできない等の連絡が入っております。共有ファイル等にアクセスできない場合は、今一度ユーザ名をご確認ください。また昨年度より運用が始まった、サイボウズ office8 では旧サイボウズで管理されていたファイルもすべて移行しておりますが、今後ファイル数が肥大化

する可能性があり，各部署にて整理していただけるよう，よろしくお願いします。

なお，tall で添付ファイルを配信することは学内専用ホームページ※総合情報センター※情報発信・情報交換※電子メールの添付ファイルに関する注意喚起（総合情報センター）<http://www.center.tsuyama-ct.ac.jp/sougouj/info/tenpu01.htm> に示す問題点もありますので，グループウェアの掲示板を活用して，ネットワークへの負荷を軽減するようお願いいたします。さらに，グループウェアのスケジュール機能を有効利用して，各種行事等の調整に活用できるようにお願いいたします。

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧

平成21年度に新規に導入された主要なハードウェアとソフトウェアを報告します。

(1) 教育用電子計算機システムの機能強化用物品とソフトウェア

- ・ Symantic AntiVirus Corporate Edition 11.0
- ・ ESET NOD32 Antivirus
- ・ MSDN アカデミックアライアンス
- ・ マルチメディア室デスク

(2) ネットワークサーバ更新用物品等

- ・ サーバー (PRIMERGY RM100 S5 (SATA モデル) 500GB) × 2 台
- ・ サーバー (PRIMERGY RM100 S5 (SATA モデル) 1TB)
- ・ サーバー (PRIMERGY RX100 S6 (3.5 インチモデル) 500GB)
- ・ NetScreen-Remote VPN Client 8
- ・ デスクトップパソコン (BTO MN502iCi5 TYPE-SRX) × 2 台
- ・ サイボウズ Office8

(3) 事務用パソコン等

- ・ PC-Transer 翻訳スタジオ 2010 プロフェッショナル
- ・ レーザープリンター IPSiO SP 6210 (A3 対応)

2. 平成21年度授業・研究利用状況

2. 1 授業での利用

表 部屋別授業科目一覧

マルチメディア室	電気電子創造演習Ⅱ [E-3] 情報処理Ⅰ [M-3・S-2] プログラミングⅡ [C-2] プログラミング言語 [C-3] CAD/CAM [S-5] 電子制御創造演習Ⅰ [S-2] 電子制御創造演習Ⅱ [S-3] 創造英語 [4年全学科] 数値解析 [S-5] 実践英語Ⅰ [専-1] 実践英語Ⅱ [専-2] 情報科学 [専-1] 情報リテラシー [E-1] 情報処理Ⅱ [S-3]
基礎情報演習室	情報工学実験Ⅰ [C-1] 機械設計設図Ⅲ [M-3] 機械工学実験実習Ⅱ [M-2] 電子制御工学実験Ⅲ [S-5] 情報処理Ⅱ [E-4・M-5] 電子制御課題研究Ⅱ [S-3] 設計製作課題演習 [M-4] 産業と商業 [5年全学科] プログラミングⅠ [C-1] 電子制御工学実験Ⅰ [S-3] 応用機械設計 [M-5] 情報処理特論 [E-5] 情報リテラシー [M-1・S-1] 電気電子実験課題演習 [E-3] 情報処理応用演習Ⅱ [専-1]
応用情報演習室	情報工学実験Ⅲ [C-3] 電子制御実習Ⅰ [S-1] 情報工学実験Ⅱ [C-2] 機械工学実験実習Ⅳ [M-4] 情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ [専-1] 機械工学実験実習Ⅲ [M-3] 情報工学実験Ⅳ [C-4] 電子制御工学実験Ⅲ [S-5] 計算力学 [専-2] 制御機器 [S-5]

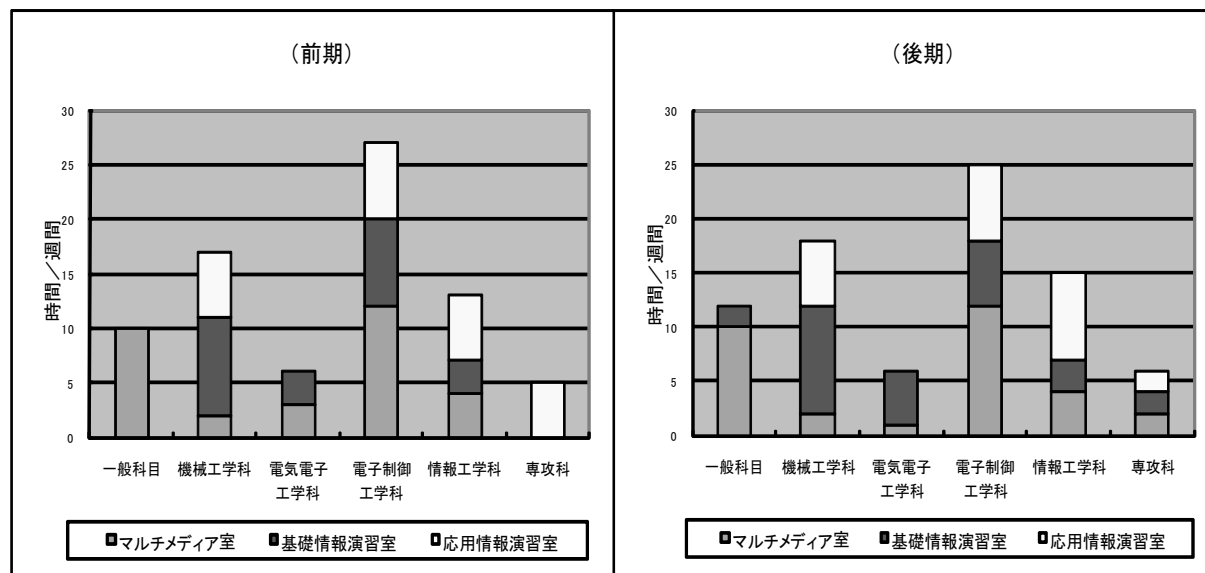


図 部屋別・学科別の利用時間

2. 2 研究での利用

(1) 卒業研究・専攻科特別研究

電子制御工学科 竹谷尚研究室

- ・ GA による人工生命の生産性－遊びの影響に関する検討－ 前原孝行

情報工学科 菊地洋右研究室

- ・ アンケートシステムの構築－アンケートの実施・送信用アプリケーションの作成 先原直樹
- ・ アンケートシステムの構築－データベースの設計・構築 芦田裕子
- ・ アンケートシステムの構築－集計・解析アプリケーションの作成 瀬島千佳

情報工学科 藤田一寿研究室

- ・ 力学モデルを用いた歩行者の移動シミュレーションソフトの開発 高橋陽生
- ・ コリントゲームにおける球の運動の解析 森本一輝

情報工学科 岡田 正研究室

- ・ オープンソースによるアプライアンスシステム開発環境の整備 福田大賀
- ・ オープンソースによるグループウェアの導入 牧野有華
- ・ 安全なインターネットサーバの条件と WWW サーバでの確認 ヴ

情報工学科 曾利 仁研究室

- ・ 基礎的画像処理技術の学生実験への導入 森本泰尊
- ・ 応用的画像処理技術の学生実験への導入 細谷 雄
- ・ ニューラルネットワークを用いた台風接近時の風速風向予測法 佐々木宏修
- ・ 台風モデルとニューラルネットワークを用いた台風接近時の風速風向予測法 長畑香奈栄
- ・ ニューラルネットワークを用いた短時間先の簡易風速予測法 林田啓夢

情報工学科 藪木 登研究室

- ・ 視線を用いた電化製品コントロールシステムの構築 池上晃司
- ・ 2 台のビデオカメラを用いた顔方向の検出 生峯優樹

情報工学科 河合雅弘研究室

- ・ 拡張現実感のシステム構築とその応用 永倉 純
- ・ マーカーレス型拡張現実感システムの検討 西山格人

情報工学科 宮下卓也研究室

- ・ オープンソースソフトウェアを用いた監視システムの作成 明石恭輔

・ LAN アナライザを応用した監視システム	森内大輔
情報工学科 大平栄二研究室	
・ ユーザ主導型音声会話制御方式の検討	池田 聡
・ データベースを用いた高専の環境と入学倍率の調査	田崎智也
・ データウェアハウスを用いた津山高専の求人企業の解析	松本大器
情報工学科 坂井良広研究室	
・ 進路活動支援データベースの検討	安東直道
・ DSP による実時間信号処理についての検討	小原佑太
情報工学科 寺元貴幸研究室	
・ 高専プログラミングコンテスト競技部門問題の解析	石本龍己
・ 出雲街道デジタルアーカイブの作成とコンテンツの充実	木島 希
・ 自動株式売買ソフトウェアの作成	佐藤康一
情報工学科 大西 淳研究室	
・ プログラミング授業の改善のための一提案	高山直紀
・ データ操作過程を可視化した C インタプリタの作成－実用化に向けた改良－	越井翔也
電子・情報システム工学専攻 藤田一寿・河合雅弘研究室	
・ 図形の大きさに依存しない視覚認識の神経モデル	大森崇広
・ 社会ネットワークにおける囚人のジレンマの協力行動の進化	森本竜広
電子・情報システム工学専攻 宮下卓也研究室	
・ 教育用 PC の利用状況収集機構の開発	景森美之
・ 認証プロキシを用いたアクセス制限機能付き無線 LAN 環境の構築	小池佳央
電子・情報システム工学専攻 岡田 正研究室	
・ 地域情報化で必要とされる管理を含むユーザインタフェースの研究	茂兼千明
・ 地域情報化支援における安全で適切なネットワークシステム構築の研究	吉田真澄

(2) 教員の利用

学外のコンピュータと NAT または SSH を使用して接続利用

情報工学科 坂井良広

研究題目 : 信号分離を用いた適応フィルタに関する研究

接続相手先：電気通信大学情報通信工学科	
情報工学科	寺元貴幸
研究題目	：物理数値シミュレーションプログラムの領域分割による並列化支援
接続相手先	：宇都宮大学電気電子工学科 川田研究室
情報工学科	大西 淳
研究題目	：論理回路を対象としたタイミング検証の高速化に関する研究
接続相手先	：岡山大学工学部通信ネットワーク工学科 杉山研究室
情報工学科	岡田 正
研究題目	：インターネット経由の安全な接続に関する検討
接続相手先	：学外設置サーバ
一般科目	吉田英治
研究題目	：保型関数のスペクトル理論
接続相手先	：九州大学大学院数理学研究科
情報工学科	宮下卓也
研究題目	：分散システムの運用に関する研究
接続相手先	：岡山大学総合情報基盤センター
情報工学科	菊地洋右
研究題目	：アルゴリズム論
接続相手先	：東京大学大学院情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻 今井研究室 独立行政法人 科学技術振興機構 量子情報システムアーキテクチャ
専門共通科目	佐々井祐二
研究題目	：ランダム行列理論と有限密度状態の量子色力学
接続相手先	：広島大学情報メディア教育研究センター
情報工学科	曾利仁
研究題目	：ネットワークサービスを用いた創造教育システムの構築
接続相手先	：有限会社アイ・エス・ティ
電子制御工学科	桶真一郎
研究題目	：太陽光発電に関する研究
接続相手先	：気象業務支援センター
電子制御工学科	谷口造成
研究題目	：ソフトアクチュエータの福祉機器への適用に関する研究
接続相手先	：岡山大学大学院自然科学研究科

2. 3 総合情報センター利用者数一覧（マルチメディア室を除く）

＊このデータは、総合情報センター事務室前の自動計測器で計測されたもので、正確な利用者数ではありません（合計人数を2で割ったもの）。おおよその目安とお考えください。

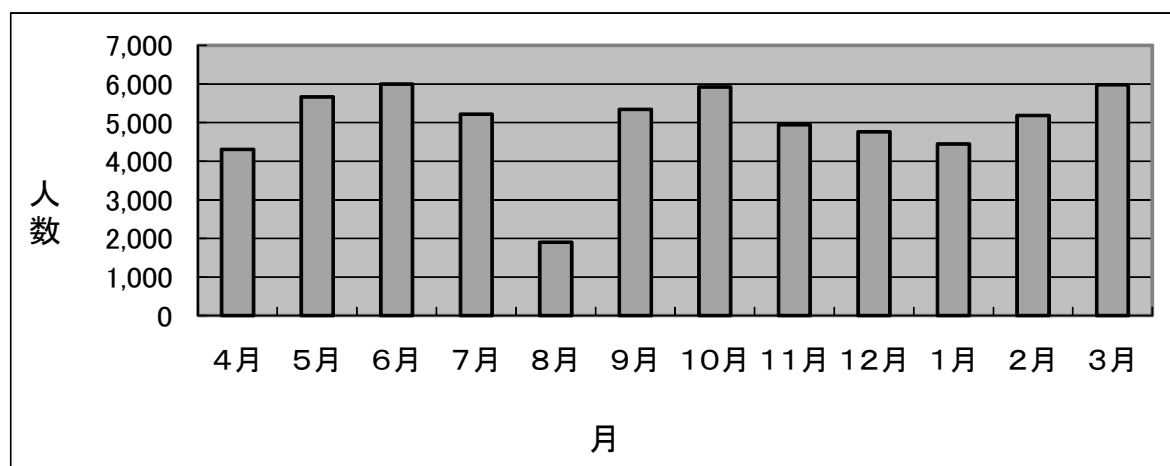


図 平成21年度利用者人数

3. 開放利用

情報総合センターでは平成21年度に公開講座・見学などで、多くの学外の方に来ていただきました。こうした学外者向けの開放利用について、概要を紹介します。

（1）公開講座「パソコンとネットで活用するデジタルカメラ」

7月11日（土）、12日（日）、18日（土）、19（日）、25（土）、26日（日）の6日間に、一般市民を対象として、デジカメの基本原理・機能・使い方を学び、パソコンで加工処理し情報発信する方法等を学習してもらう講座をマルチメディア室を使い、本校教員（寺元ほか）が担当して、33名の受講者で実施しました。

（2）オープンキャンパス2009

8月21日（金）と22日（土）に104名の中学生が訪れ、その内62名が3次元コンピュータグラフィックス（3DCG）作成用ソフトを使って簡単なキャラクター作成及びアニメーションの作成を体験してもらいました。

（3）津山市産業技術者育成講座「津山高専によるCADオペレーター入門講座」

手書き製図および2次元CADの基礎コースを10月29日（木）から12月17日（木）の全8回の内、第4回から第8回までを基礎情報演習室を使い実施しました。

(4) 高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業 CAD 実習

1月30日(土)、2月6日(土)、2月13日(土)に応用情報演習室を使い実施しました。

(5) 出前講座「パソコン講座」

エクセル初級者講座を1月30日(土)受講者10名、パワーポイント初級講座を31日(日)受講者18名でマルチメディア室を使い実施しました。

4. 委員会報告 (平成21年4月から平成22年3月まで)

前センター長 田邊 茂

4. 1 学術情報委員会

第1回(4月3日)

(1) 委員の確認について

(2) Gmailの導入について

(3) 今年度の運営方針について

(4) 報告事項 (SCS事業の終了について, その他)

第2回(12月7日メール会議)

(1) 津山工業高等専門学校ソフトウェア管理規程の制定について

4. 2 総合情報センター運営小委員会

第1回(4月3日)

(1) H21年度総合情報センター運営基本方針: e-mail を活用した委員会運営とすることなど (2) H21年度役割分担について (3) 各部門の重点事項: 次期教育システム更新の仕様案作成, VPN 導入運用開始 (4) その他: 連絡会のことなど

第2回(5月28日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について: 4年生向け情報セキュリティ教育資料についてなど (2) 情報ネットワークの運用管理について: 各種サーバーのバージョンアップ対応およびCCCN回線の速度増加など (3) 情報ネットワークの支援について: 本校公式HPの新年度に関わる各種の更新対応など (4) 事務処理システムの運用管理及び支援について: グループウェアの更新についてなど

第3回(7月17日メール会議)

(1) 教育情報システムの運用管理及び支援について: 演習室のPC不具合の対

応など（２）情報ネットワークの運用管理について：対外接続回線の契約のための仕様作成支援など（３）情報ネットワークの支援について：本校公式 HP の更新対応など

第４回（１０月５日メール会議）

（１）教育情報システムの運用管理及び支援について：演習室機器のトラブル対応など（２）情報ネットワークの運用管理について：ドキュメントサーバとして tds3 を立ち上げたことなど（３）情報ネットワークの支援について：本校公式 HP の更新対応など（４）その他：ソフトウェアライセンス管理規則の検討についてなど

第５回（１２月１５日メール会議）

（１）教育情報システムの運用管理及び支援について：新教育システム使用検討 WG を各学科のセンター員を中心に立ち上げ，作業が進行中であることなど（２）情報ネットワークの運用管理について：校内 LAN の整備の今後の予定について検討したことなど（３）情報ネットワークの支援について：本校公式 HP の更新対応など（４）事務処理システムの運用管理及び支援について：グループウェアの更新に向けて準備中であることなど（５）その他：設備マスタープランの検討など

第６回（３月１７日メール会議）

（１）教育情報システムの運用管理及び支援について：新教育システム使用検討 WG にて仕様案がまとまったことなど（２）情報ネットワークの運用管理について：サーバ室のエアコン２重化工事，VPN の運用開始へ向けた準備など（３）情報ネットワークの支援について：本校公式 HP の更新対応など（４）その他：G mail の運用についての支援，セキュリティセミナー開催，マイクロソフトの包括ライセンスの対応の検討など

４．３ 総合情報センター連絡会

総合情報センター長，副センター長，および専門教員の５名で開いている総合情報センターの運営に関する定期的な打合せ会で，平成２１年度は２０回開きました。ここで話し合われ，報告された内容はすべて総合情報センター運営小委員会に報告されていますので，ここではその内容の報告は省略します。

５．主要日誌（平成２１年４月から平成２２年３月まで）

４月 １日 電子メールのグループ別名の切り替え

- 4 月 1 日 第 1 回総合情報センター連絡会
- 4 月 3 日 第 1 回総合情報センター小委員会
- 4 月 3 日 総合情報センター利用者説明会（参加者 24 名）
- 4 月 7 日 「つなかん」15 号を発行
- 4 月 13 日 第 2 回総合情報センター連絡会
- 4 月 28 日 各部署の責任者に対してセキュリティポリシーミニセミナーを開催
- 4 月 27 日 第 3 回総合情報センター連絡会
- 5 月 11 日 第 4 回総合情報センター連絡会
- 5 月 25 日 第 5 回総合情報センター連絡会
- 5 月 28 日 第 2 回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 6 月 8 日 第 6 回総合情報センター連絡会
- 6 月 22 日 第 7 回総合情報センター連絡会
- 7 月 17 日 第 3 回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 6 月 19 日 総合情報センター報第 14 号発行
- 7 月 6 日 第 8 回総合情報センター連絡会
- 7 月 21 日 第 9 回総合情報センター連絡会
- 8 月 11 日 総合情報センター休館（夏季休暇）
- ～ 17 日
- 8 月 27 日 高等専門学校情報処理教育研究委員会第 28 回研究発表会（長
- ～ 28 日 野高専）に 4 名が参加
- 9 月 7 日 第 10 回総合情報センター連絡会
- 9 月 16 日 国立大学法人電子事務局研究発表会（岡山大学）にて 1 名発表。
- ～ 17 日
- 9 月 28 日 第 11 回総合情報センター連絡会
- 10 月 5 日 第 4 回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 10 月 14 日 第 12 回総合情報センター連絡会
- 10 月 26 日 本校公式ホームページのトップページを変更
- 11 月 6 日 第 13 回総合情報センター連絡会
- 11 月 14 日 H21 年度情報教育研究集会（仙台）に 1 名が参加
- ～ 15 日
- 11 月 16 日 第 1 回新教育システム仕様策定ワーキンググループ会議
- 11 月 30 日 第 14 回総合情報センター連絡会
- 12 月 14 日 第 2 回新教育システム仕様策定ワーキンググループ会議
- 12 月 14 日 第 15 回総合情報センター連絡会

- 1 2 月 1 5 日 第 5 回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 1 2 月 2 6 日 総合情報センター休館（冬季休暇）
- ～ 1 月 4 日
- 1 月 6 日 新グループウェアの運用開始
- 1 月 1 8 日 第 1 6 回総合情報センター連絡会
- 2 月 1 日 第 1 7 回総合情報センター連絡会
- 2 月 1 5 日 第 1 8 回総合情報センター連絡会
- 2 月 1 7 日 第 3 回新教育システム仕様策定ワーキンググループ会議
- 3 月 1 日 第 1 9 回総合情報センター連絡会
- 3 月 1 0 日 社）コンピュータソフトウェア著作権協会による「ソフトウェアの使用と著作権について」講演会開催
- 3 月 1 1 日 H 2 1 年度本校教職員向けセキュリティセミナー（2 9 名参加）
- 3 月 1 5 日 第 2 0 回総合情報センター連絡会
- 3 月 1 7 日 第 6 回総合情報センター小委員会（メール会議）
- 3 月 1 5 日 教育用 PC の新年度に向けての更新作業
- ～ 1 7 日
- 3 月 2 3 日 和歌山高専へ新教育システムの調査（2 名）
- ～ 2 4 日
- 3 月 2 6 日 マルチメディア室の机更新，サーバ室エアコン 2 重化工事など終了

6．総合情報センターの予算執行状況

総合情報センターに配分されている予算を，どのような用途に使ったかを報告します。

ここに報告するのは，経常経費で処置した物品等の主な物で，専用回線費用はのぞきます。また，ここに挙げたのは，用途別に分類した上で主要なもののみを示しており，すべての項目を網羅したものでないことをお断りしておきます。

（1）教育用設備・消耗品

・ MSDN アカデミックアライアンス	151,200 円
・ Symantic AntiVirus Corporate Edition 11.0	71,400 円
・ マルチメディア室デスク	1,354,500 円
・ リサイクルトナーカートリッジ	259,380 円

・コピー用紙	51,702 円
(2) 運用管理用設備・消耗品	
・サーバー (PRIMERGY RM100 S5 (SATA モデル) 500GB) ×2 台	352,800 円
・サーバー (PRIMERGY RM100 S5 (SATA モデル) 1TB)	226,800 円
・サーバー (PRIMERGY RX100 S6 (3.5 インチモデル) 500GB)	242,340 円
・デスクトップパソコン (BTO MN502iCi5 TYPE-SRX) ×2 台	172,040 円
・サイボウズ Office8	574,350 円
・ソフトウェア (翻訳ソフト他)	97,776 円
・ESET NOD32 Antivirus	50,400 円
・レーザープリンター IPSiOSP6210 (A3 対応)	68,250 円
(3) 図書費	9,990 円
(4) 広報費	
・総合情報センター報 14 号(200 部)	90,300 円

7. 平成22年度総合情報センター利用授業時間割

前期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			
	2	電子制御工学実験Ⅲ S－5	電子制御工学実験Ⅲ S－5	プログラミング言語 C－3
	3			
	4	プログラミング特論 C－5	情報工学実験Ⅲ C－3	
	5			
	6			
	7			
	8			
火	1	情報工学実験Ⅰ C－1	電子制御実習Ⅰ S－1	情報リテラシー E－1
	2	機械設計製図Ⅲ M－3		数値解析 S－5
	3			
	4			
	5			
	6			情報処理Ⅰ S－2
	7			
	8			
水	1	機械工学入門 M－1		実践英語Ⅱ
	2	情報リテラシー M－1		専攻科2
	3	機械工学実験実習Ⅱ	情報工学実験Ⅱ	CAD／CAM
	4	M－2	C－2	S－5
	5	情報処理Ⅱ	機械工学実験実習Ⅳ M－4	プログラミングⅡ
	6	E－4		C－2
	7			電子制御創造演習Ⅱ S－3
	8			
木	1		情報処理基礎演習Ⅱ	
	2	電子制御工学実験Ⅰ S－3	専攻科1	プログラミングⅠ C－1
	3			
	4			
	5			
	6		機械工学実験実習Ⅲ M－3	
	7	電子制御課題研究Ⅱ		電子制御課題研究Ⅱ S－3
	8	S－3		
金	1	情報処理Ⅰ	電子情報回路特論 E－4	電気電子機器設計
	2	M－3	情報工学実験Ⅳ C－4	E－5
	3	設計製作課題演習		
	4	M－4		情報処理特論 E－5
	5			情報処理Ⅱ
	6			S－3
	7			
	8			

後 期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			実践英語Ⅰ
	2	電子制御工学実験Ⅲ S－5	電子制御工学実験Ⅲ S－5	専攻科Ⅰ
	3			プログラミング言語
	4			C－3
	5	プログラミング特論	情報工学実験Ⅲ C－3	電気電子実験課題演習
	6	C－5		E－3
	7			
	8			
火	1	情報科学	電子制御実習Ⅰ S－1	
	2	専攻科Ⅰ		
	3	機械設計製図Ⅲ M－3		数値解析 S－5
	4			
	5			
	6			情報処理Ⅰ S－2
	7			
	8			
水	1	機械工学入門 M－1		
	2	情報リテラシー M－1		
	3	機械工学実験実習Ⅱ	情報工学実験Ⅱ C－2	CAD／CAM
	4	M－2		S－5
	5	情報処理Ⅱ	機械工学実験実習Ⅳ M－4	プログラミングⅡ
	6	E－4		C－2
	7			電子制御創造演習Ⅱ S－3
	8			
木	1	応用機械設計 M－5	情報処理基礎演習Ⅱ 専攻科Ⅰ	情報リテラシー S－1
	2			プログラミングⅠ C－1
	3			
	4			
	5	情報処理Ⅱ	機械工学実験実習Ⅲ M－3	
	6	M－5		
	7	電子制御課題研究Ⅱ		電子制御課題研究Ⅱ S－3
	8	S－3		
金	1	情報処理Ⅰ	電子情報回路特論 E－4	電気電子機器設計 E－5
	2	M－3	情報工学実験Ⅳ C－4	
	3	設計製作課題演習		
	4	M－4		情報処理特論 E－5
	5			情報処理Ⅱ
	6			S－3
	7			
	8			

8. 平成22年度総合情報センター関連の委員と職員

平成18年度より、「学術情報委員会」が設置され、その下に「総合情報センター運営小委員会」「図書館運営小委員会」「紀要編集ワーキンググループ」が置かれるようになりました。これらの小委員会とワーキンググループは協力し運営され、関連する重要事項は「学術情報委員会」で審議されることになっています。また、これまでの情報化委員会は廃止され、その主な審議は「運営会議」で審議されます。

以下に今年度の関連の委員と職員を掲載します。

8. 1 学術情報委員会委員

山本 吉範（総合情報センター長）	中岡尚美（図書館長）
長井 聡（総合情報副センター長）	長井 聡（図書館長補）
佐々井祐二（総合情報副センター長）	湊原哲也（図書館運営小委員会）
竹谷 尚（総合情報副センター長）	
宮地 弘（事務部長）	

8. 2 総合情報センター運営小委員会委員

センター長	：	山本 吉範	
副センター長	：		
長井 聡	（教育システム運用管理部門長）		
佐々井祐二	（情報ネットワーク運用管理部門長）		
竹中 尚	（事務処理システム運用管理部門長）		
センター員	：		
岡田 正	（校長が必要と認める教員）		
宮下卓也	（校長が必要と認める教員）		
加藤 学	（機械工学科）	中村重之	（電気電子工学科）
桶 真一郎	（電子制御工学科）	菊地洋右	（情報工学科）
有本 茂	（一般科目）	松原啓充	（総務課）
岩崎正樹	（学生課）	藤澤 浅	（学術・社会連携推進事務室）
専門教員	：	寺元貴幸	

専門職員	：	日下孝二
------	---	------

8. 3 総合情報センター職員

上記の総合情報センター運営小委員会メンバー 事務職員	：	松浦慈子
-------------------------------	---	------

9. 津山高専教職員のメールアドレス

注) 学外からのメールは次のように表記。

ユーザー名 @tsuyama-ct.ac.jp

2010/5/1 現在

組織名	登録者名	ユーザ名
校長	稲葉 英男	inaba
機械工学科	吉富 秀樹	yositomi
	福田 昌准	fukuda
	佐藤 紳二	ssato
	小西 大二郎	konishi
	井上 浩行	inoue
	塩田 祐久	shiota
	大野 威徳	oono
	橋本 淳	j-hash
	加藤 学	kato
	北條 智彦	hojo
	山口 大造	tnt_yama
電気電子工学科	伊藤 國雄	ito
	下西 二郎	jiro
	田邊 茂	tanabe
	植月 唯夫	uetsuki
	原田 寛治	harada
	佐藤 信廣	satou
	中村 重之	nakamura
	長井 聡	nagai

	前原 健二 西尾 公裕 八木 秀幸	maehara nishio yagi
電子制御工学科	鳥家 秀昭 山本 吉範 小林 敏郎 野村 健作 竹谷 尚 細谷 和範 谷口 浩成 桶 真一郎 湊原 哲也	toya yamamoto t-koba nomura taketani hosotani taniguti oke minato
情報工学科	岡田 正 河合 雅弘 大平 栄二 藪木 登 坂井 良広 宮下 卓也 大西 淳 寺元 貴幸 菊地 洋右 曾利 仁 藤田 一寿	okada kawai ohira yabuki sakai miyasita a-onishi teramoto kikuchi sori k_fujita
専門共通科目	佐々井 祐二 渡利 正弘	sasai watari
一般科目	三浦 和久 俣野 好治 中岡 尚美 有本 茂 大田 肇 杉山 明 佐藤 誠 稲田 知巳 松田 修 吉田 英治	miura matano nakaoka arimoto oota a-sugi satom inada matsuda yoshida

	Eric Scott Rambo 横谷 正明 古樋 直己 荒木 祥一 角谷 英則 久保川 晴美 江原 由美子 山本 浩二	rambo yokotani furuhi araki kadoya kubokawa ehara yama-k
事務部長	宮地 弘	miyadi
総務課	田川 隆 藤原 浩一 竹中 正巳 松原 啓充 大智 恵理子 頼経 雅美 山西 麻由 野村 卓也 佐藤 良子 塩根 小百合 三嶋 洋平 山田 浩史 岸部 欣伸 枳山 あゆみ 杉本 理香 藤堂 直彦 森崎 祐太郎	tagawa fuji-k takenaka matubara ooti yoritune yamanisi nomura-t rsato shione mishima yamada yoshi totiyama sugimoto toudou morisaki
学生課	藤沢 博伸 庄司 知広 土屋 信雄 岩崎 正樹 長宗 理恵 高畑 宏幸 富岡 裕美 森藤 尊広 玉置 知子	fuji-h shouji tsuchiya iwasaki nagamune takahata tomioka moritou tamaki

	村田 敏美 出原 泰彦 正木 美加 原 強治 竹内 哲也 藤原 智孝 松浦 慈子	murata idehara masaki hara takeuti fuji-t matuura
学術・社会連携推進事務室 地域共同テクノセンター	山下 泰彦 藤澤 浅 天野 真梨子 大重 広明 柴田 政勝 小畑 秀弘 湯浅 泰之 高橋 悠	yamasita fujisawa amano oshige shibata obata yuasa takahasi
教育研究支援センター	中尾 三徳 河原 みほ 川村 純司 大谷 賢二 永禮 康恵 神田 尚弘 西川 弘太郎 塩田 裕司 瀬島 裕貴 徳方 孝行 上田 達男 日下 孝二 赤荻 勝 河野 トキエ	nakao kawano kawamura otani nagare kanda nisikawa y-shiota sejima tokuho ueda kusaka akaogi kouno

基礎情報演習室

■Windows XP パソコン51台とネットワークプリンタ2台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。



応用情報演習室

■Windows XP パソコン17台とネットワークプリンタ1台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。常時WWWブラウザによるインターネット接続(学外接続)が可能であり、放課後はクラブ活動や学生の情報検索に広く利用されている。



マルチメディア室

■Windows XP パソコン51台とネットワークプリンタ2台が設置されており、リテラシー教育やプログラミング教育に用いられている。また、教師PCの映像はPCの中間に増設したLCDに表示されるようになっている。



ネットワークプリンタ

【基礎2台、応用1台、マルチメディア室2台】

ネットワークプリンタLP-9200BZ EPSON LP-9200BZ
A3モノクロ両面印刷対応
2段カセット+手差カセット
100Base-TX+USB2.0



ハードウェア

エプソンダイレクトAT955-TK1
Pentium4 2.66GHz/512MB Memory/40GB HDD
48倍速CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC
17" LCD/光学式マウス/サウンド機能

ソフトウェア

全室共通
OS: Windows XP Professional
オフィス: Microsoft Office 2003 Professional
: OpenOffice.org 2.0
辞書: BookShelf 3.0
数式作成ツール: Math Type6
CAD: AutoCAD 2006 (同時起動49台まで)
: Solid Works 2005 SP3.1 (同時起動100台まで)
: JW_CAD 5.00e
グラフィックス: Visio Pro 2003
: HALCON Ver.7(デモ版)
: Paint Shop Pro 7J
可視化ツール: Micro AVS 6.0 教科書版
プログラミング: Visual Studio .NET Pro 2003
C++ コンパイラ: Borland C++ Compiler 5.5

グラフィックス・ライブラリ: GrWinグラフィックス・ライブラリ
BASIC: 十進BASIC Ver.5.4.3
Fortran: g77 v.2.95 for MinGW32
解析ソフト: MATLAB 7.0.1 R14 SP1(同時起動50台まで)
英語学習: ALC-NetAcademy
エディタ: TeraPad 0.89a
圧縮・解凍: +Lhaca デラックス版 1.24
FTP: FFFTP 1.92a
タイピング: 美佳のタイプトレナー 2.06
グラフ作成: Gnuplot 4.0
2次元グラフ作成: Ngraph for Windows Ver.6.0.3
組版ソフト: LaTeX2ε 角藤版 Web2C-7.5.5
DVIVIEWer: Dviout 3.17
PostScriptViewer: Ghostscript 8.53
PostScriptViewer(GNU): GhostView 4.7
UNIX環境: Cygwin 1.5.18-1
メールソフト: AL-Mail 1.13a
ドキュメント閲覧: Adobe Reader 8.1.2
PDF作成: Redmon Ver 1.7
PDF結合等: ConcatPDF 1.1.4
通信: Tera Term Pro 2.3+TTSH 1.5.4 日本語化
回路網シミュレータ: ATP Draw 4.0p2
回路シミュレータ: MicroSim Pspice A/D 7.1.3
汎用回路図設計ツール: OrCad 9.2 LiteEdition CD-ROM 9.2
回路図作成: GuenCAD 2.04
授業支援システム: Wing-NET Ver.6

応用演習室のみ

可視化ソフト: MicroAVS 9.0 Std
解析ツール: ANSYS ED Ver.9

教育用 Windows サーバ

■ドメインコントローラ兼授業支援サーバ

日本ヒューレット・パカード ML350 R04p X3000-2M
OS Windows Server 2003
Xeon 3.40GHz/2GB Memory/HDD SCSI Ultra 320 72.8GB×2
CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC/17" LCD
外付けRAID(日本ヒューレット・パカード349239-B21)

■ドメインコントローラ兼教育端末管理用サーバ

日本ヒューレット・パカード ML350 R04p X3000-2M
OS Windows Server 2003
Xeon 3.40GHz/2GB Memory/HDD SCSI Ultra 320 72.8GB×2
CD-ROM/3.5" FDD/1000BASE-T NIC/17" LCD
USBストレージ 250GB
端末管理用ソフト Altiris Deployment Server6.1
バックアップ用ソフト Live State Recovery Adv Server 3.0

ネットワーク機器

■サーバおよび各演習室基幹スイッチ(1台)

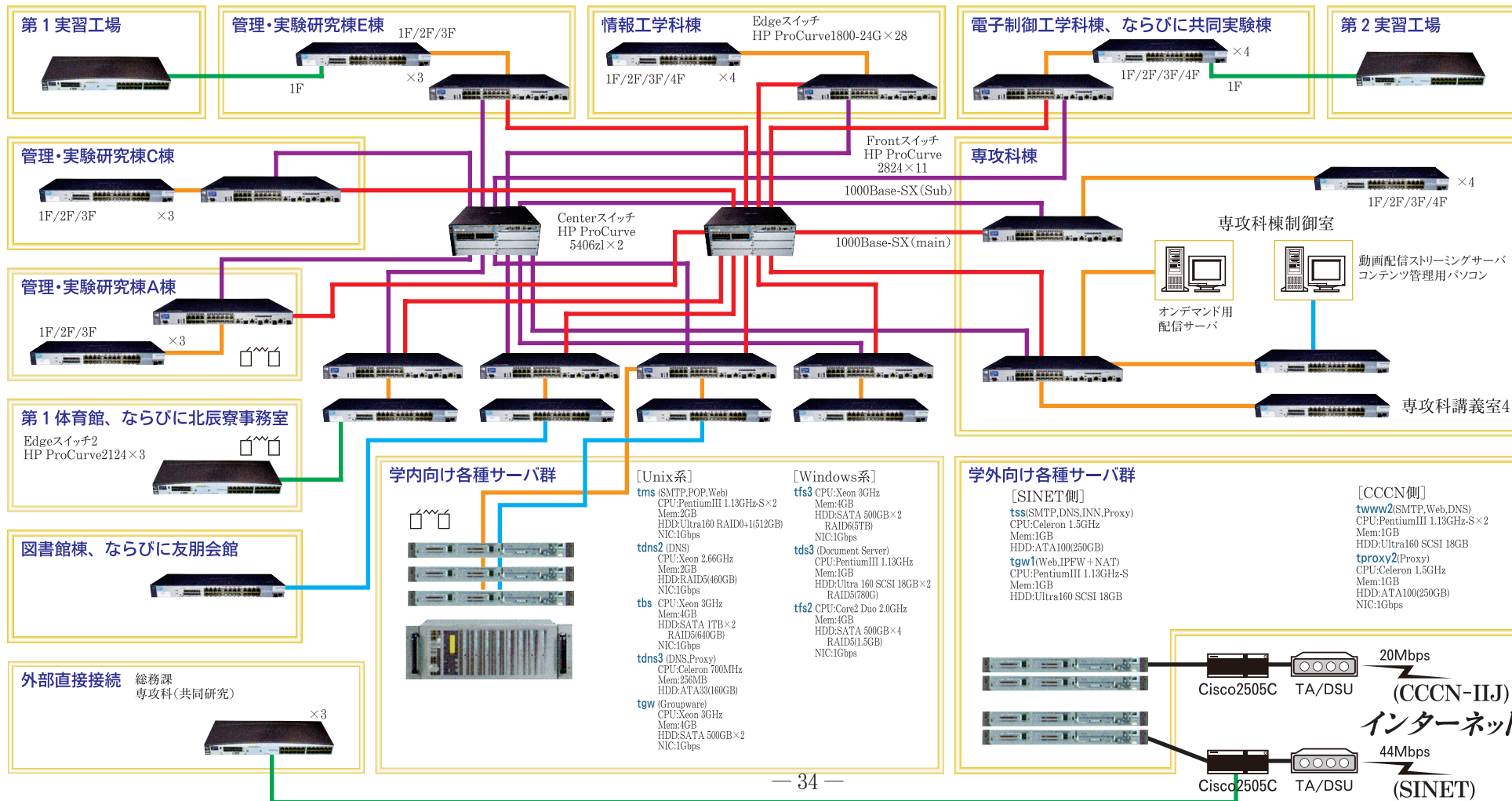
日本ヒューレット・パカード ProCurve2824
GigaPort×20ポート+Gigabit-SX-LC mini-GBIC

■各演習室用スイッチ(7台)

DELL PowerConnect2724
DELL Gigabit-SX-LC mini-GBIC 1

カラー複合機 (1台)

ネットワークカラー複合機LP-M5500Z EPSON LP-M5500Z
A3カラー両面印刷対応
600x1200dpiA3スキャナ
2段カセット+手差カセット
100Base-TX+USB2.0



校内ネットワーク & サーバ室

■光ファイバによる1Gigabit基幹ネットワークに、スイッチングHUB経由で、全校のどこからでもネットワークにアクセスできる。また44Mbpsと20Mbpsの2回線の専用回線でインターネットに常時接続されている。学内ネットワークならびに学外向けの情報を提供する各種サーバ、大容量ディスク、バックアップシステムなど多数の機器がサーバ室で稼働している。

2010.6 現在

編集後記

総合情報センター報第15号を発行することができました。山本センター長をはじめとして、原稿をお寄せ頂いた皆様に感謝いたします。

本号の特集では、校外端末に校内情報サービスの利用を可能とするVPNサービス、組織に所属する人に対して指定されたマイクロソフト社製のソフトウェアを使用する権利を与える一括ライセンス契約であるマイクロソフト包括ライセンスについて紹介しました。また、今後は学生が授業や演習で利用する新教育システムの導入に向けて準備を進めていきます。

センターではウィルス感染ゼロを目指して、情報機器の保守管理に努めています。何よりも利用者の情報セキュリティ意識が大切です。この他、今年度も特に問題もなく教育システム、ネットワーク、事務システムの利用を行うことが出来ました。日頃、熱心に活動されている総合情報センター関係者のご尽力が忍ばれます。特に、平成20年度から2年間にわたり総合情報センター長としてセンターを率いてこられた田辺教員は、平成21年度をもって交代されました。厚くお礼申し上げるとともに、今後ともご支援をお願いいたします。

総合情報センターの提供するサービスについても、現状に満足することなく、利用者に真に役立つよう、今後も改善を積み重ねていく必要があります。

(佐々井)

発行日 2010年6月(第15号)

編集発行 津山工業高等専門学校
総合情報センター

〒708-8509 岡山県津山市沼624-1

Tel. 0868-24-8226 (ダイヤルイン)

Fax. 0868-24-4403

E-mail: staff@tsuyama-ct.ac.jp

URL <http://www.tsuyama-ct.ac.jp/>

<http://www2.tsuyama-ct.ac.jp/>

総合情報センター報(電子版) URL

<http://www.tsuyama-ct.ac.jp/honkou/shisetsu/sjc/c-hou.htm>